

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：26005

学校名：簾舞小学校

	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 <男子>	○令和6年度の記録と同程度もしくは上回った種目 握力 上体起こし 長座体前屈 反復横跳び ソフトボール投げ 50m 走	○令和6年度の記録より下回った種目 20m シャトルラン	・前年度を上回っていても、全国平均より低い種目が多い。他の学年の記録と併せ、本校の課題は「柔軟性」「持久力」「瞬発力」である。体育の時間はもちろん、朝活動の縄跳び等でもこれらを高める運動を取り入れる。
体力・運動能力 <女子>	○令和6年度の記録と同程度もしくは上回った種目 握力 上体起こし 長座体前屈 反復横跳び ソフトボール投げ 50m 走	○令和6年度の記録より下回った種目 20m シャトルラン	・前年度を上回っていても、全国平均より低い種目が多い。他の学年の記録と併せ、本校の課題は「柔軟性」「持久力」「瞬発力」である。体育の時間はもちろん、朝活動の縄跳び等でもこれらを高める運動を取り入れる。
運動・スポーツへの意識、 運動習慣	・「運動やスポーツをすることは好き」と回答する子の割合 R7：男子 87.5% 女子 70.6% R8：男子 91.7% 女子 83.4%		・「朝食は毎日食べる」と回答する子の割合 R7：男子 57.1% 女子 71.4% R8：男子 100% 女子 100%

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自らの健康の保持増進を図る取組
--------------	------------------------	------------------------------	-----------------------------

具体的な取組	<p>○共に学ぶ「課題探究的な学習」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 各競技に応じた準備運動を行い、競技への苦手意識や不安を取り除く授業展開を工夫する。 体育の授業で「できなかったことができるようになったきっかけ」について、「個別にコツを教えてもらった」「先生や友達のまねをしてみた」等に回答している子が多かった。⇒タブレットPCを効果的に活用し、お互いの運動する姿を動画で見合ったり、友達と交流したりすることで課題を発見し、課題探究のために協働的に学ぶ授業を構築する。 	<p>○朝活動や休み時間の運動機会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 「仲間・時間・空間（三間）」の創出による運動機会の充実を図る。 朝活動に縄跳びを取り入れ、いろいろな技に挑戦する機会を設定する。 休み時間は担任も一緒に体育館やグラウンドで体を動かし、「運動が楽しい」という気持ちを持ち続けることができるよう関わる。 <p>○様々な運動に取り組むことのできる環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ボールやフリスビーなど、子どもが楽しく運動に取り組むことができるような用具を整備する。 サッカーゴールやドッジボールコートなど、運動をしたい気持ちが高まるような環境を整備する。 	<p>○「心と体と命の学習」の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 生命の誕生や心身の発育・発達における男女差や個人差に関する基礎的事項を理解させる年間計画を整備し、授業を通して互いの心身を大切にする心情や態度を育む。 <p>○給食・食育指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康で生き生きとした生活を送るために、望ましい食生活の基礎基本や、自ら健康管理ができるような指導計画を立案し、授業を通して健康を維持するための意識を高める。 <p>○外部講師の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 助産師や栄養教諭をゲストティーチャーとして招き、指導の充実を図る。
---------------	---	--	---

家庭・地域との連携・協働

- オリパラ学習において、オリンピックによるスケートの体験学習、リュージュ連盟の方によるリュージュの体験学習を実施する。
- グラウンド(1・2年生)、スキー場(3～6年生)でのスキー学習において、保護者に指導の補助を依頼する。
- 高学年を対象に、産婦人科医または助産師をゲストティーチャーとして招き、生命の誕生とその大切さについての指導の充実を図る。